



第60回

開館10周年・合併5周年記念 秋季特別展  
 — 二大街道絵展「東海道と木曾街道の旅」 —

歌川広重（1797～1858）は天保（1830～43）初年に「東都名所」を制作し評判になり、続けて「東海道五拾三次之内」（版元は竹内孫八（保永堂）と鶴屋喜右衛門（鶴喜）大判55枚）を制作し浮世絵風景画の絵師として名を成す契機となりました。作品の特徴は各宿場の景観に四季折々の季節や時刻、天候などを加え抒情的な作品に仕上げました。この作品はよく売れ1年程度で完結しました。その後、広重は生涯に20種類以上の東海道シリーズを制作します。街道絵以外にもさまざまな版元から「江戸名所」「諸国名所」などの仕事が舞い込みます。

保永堂版東海道の数年後には「木曾街道六拾九次之内」（版元は竹内孫八（保永堂）と伊勢屋利兵衛（錦樹堂）大判71枚）を制作します。当初は広重の単独版行予定でしたが、実際には溪斎英泉（1791～1848）が起筆し24図描きます。その後に広重が47図を描き完成させました。

図の日本橋は、五街道の起点であり江戸の経済の中心地として栄えました。丁度朝日が昇り始めたところです。橋上は多くの人でごったがえしています。両方とも大変摺りのよい作品ですが、上図の作品は初摺で下図の作品は後摺です。その理由は左の作品の傘の部分に、この作品を初めて出版した版元名竹内孫八が記され、下図の傘には伊勢屋利兵衛と書かれ、後摺を出版した版元名が記されているからです。



「木曾街道続ノ巻 日本橋 雪之曙」 溪斎英泉（初摺）



「木曾街道続ノ巻 日本橋 雪之曙」 溪斎英泉（後摺）

この度は、広重の代表作「東海道五拾三次之内」と「木曾街道六拾九次之内」の二つの街道絵を紹介し画風の変遷をさかのぼれる有意義な機会になるでしょう。広重が志した浮世絵風景画の世界をご堪能下さい。

馬頭広重美術館 主任学芸員 市川信也

- 【会 期】 前期：9月4日（土）～10月3日（日）  
後期：10月8日（金）～11月14日（日）
- 【ミュージアムトーク（展示解説）】 当館学芸員  
後期：10月9日（土）午後1時30分～
- 【開館時間】 午前9時30分より午後5時まで  
（但し入館は午後4時30分まで）
- 【休 館 日】 月曜日、祝日の翌日  
但し、9月24日（金）は開館します。

広報紙に広告を掲載しませんか？

掲載位置：各ページの下一段  
 サ イ ズ：縦50mm×横88mm  
 料 金：2色刷 1回 5,000円～  
 カラー刷（裏表紙のみ）1回10,000円～  
 ※複数月連続掲載の場合は割引あり  
 申込期限：掲載希望する月の初日の40日前  
 ※10月22日までに申し込まれた場合、12月号から掲載可  
 ※詳しくは企画財政課広報広聴係（☎0287-92-1114）までお問い合わせください。

那須ナンバー開設記念月間

10月9日（土）～10月31日（日）

那珂川町にお住まいの方は

入国無料！

\*入国ゲートにて住所の分かる証明書をご提示下さい。

那須どうぶつ王国  
 NASU ANIMAL KINGDOM

栃木県那須郡那須町大字大島10-42-1 平日10:00～16:30  
 TEL 0287-77-1110 土日祝9:00～17:00  
<http://www.nasu-oukoku.com/> 定休日：水曜日（夏休み・秋田県）

